

(こども版) としょかんだより No.234

2003年

わくわく本だ^な 夏休み号

富山市立図書館 富山市丸の内1-4-50 電話 076-432-7272

教科書にでてくる本 特集

国語の教科書にでてくる本を
ごしょうかいします。
よみくらべてみよう!

1 ねん

「はなのみち」(絵本)

岡 信子/作 岩崎書店

くまさんがふくろをみつけました。

「おや、なにかな。」



2 年

「せかいいちおおきなうち」

レオ・レオニ/作 好学社

りこうになったかたつむりのお話



「ぼくのわたしの こんちゅうえん」

小林 俊樹/作 福音館書店

12種類のこんちゅうをしょうかいします。

「ふたりはともだち」

『お手紙』

ローベル/作 文化出版局

がまくんとかえるくんは、とてもなかよし。

3 年

「トガリ山のぼうけん」シリーズ

いわむらかずお/作 理論社

小さなトガリとテントのおおきなぼうけん

「わたしと小鳥とすずと」

金子みすゞ/作 JURA出版局

他にも、「空のかあさま」「あかるいほうへ」
などの詩集があります。

4 年

「車のいろは空のいろ」

『しろいぼうし』

あまんきみこ/作 ポプラ社



「これは、レモンのにおい

ですか?」

「黒ねこサンゴロウ」シリーズ

竹下文子/作 偕成社

うみねこ族の宝をもとめ、旅が始まる・・・。

5 年

「プラム・クリークの土手で」

ローラ・インガルス・ワイルダー/作 福音館書店

*この本は、

「大きな森の小さな家」

シリーズの3巻目です。

「選ばなかったぼうけん」

岡田 淳/作 偕成社

ゲームソフトの中にワープしてしまった二人は・・・

6 年

「こちらゆかいな^{まど}窓ふき会社」

ロアルド・ダール/作 評論社

ペリカン・キリン・サルが、

あっとおどろく だいかつやく!



「海のいのち」

立松和平/作 ポプラ社

「お父、^{とう}ここにおられたのですか。」

山へ行こう

たのしい夏休み、海や山へ出かけませんか。



= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

ワクワク、ドキドキ、ふしぎもいっぱい！！

「サリー、山へいく」 (えほん)

スティーヴン・ヒューネック / 作 ポプラ社

犬のサリーは、はじめて山へキャンプに行くことになりました。
山にすんでいるどうぶつたちにあうのが、とってもたのしみです。

ところが、であったウサギも、ことりもミミズクもみんなしらんかお。
ほんとにともだちになれるかな。



「なないろ山のひみつ」

征矢 清 / 作 福音館書店



さちが毎日あそんでいる、なないろ山の
てっぺんがあかくひかりはじめました。

山が危ないと気づいたおばあちゃんは、
さちをじいさんぎつねにあいにいかせました。

むかしむかし
なないろやまから
にげだした
ななつのひかりが
にげだした

「森のネズミのたんけん隊」

岡野 薫子 / 作 ポプラ社
作 佼成

森のネズミたちは、新しい山荘に
たんけんにてかれます



「夏のとっぺん」

横山 充男 /

ママに「夏休みの間、塾へいかななくて
いい。」といわれて、ゆうすけは、おじい
ちゃんの住む山小屋へやってきました。
でも、朝の四時から仕事をさせられて、
もうたくた。こんなところ、ぜったい
にげだしてやる！

「気球にのった少年 - 大あばれ山賊小太郎 - 」

那須 正幹 / 作 偕成社

ますます元気なおろち山の山賊たち。
あたらしい仲間も加わってところせましと
大あばれ。



「山っ子の村 - 北の国の子どもたち - 」 (ちしきの本)

山村 輝夫 / 作 福音館書店

暑い夏の日、山っ子たちは、砂防ダムにあつまり、水遊びをするのが
大好きです。夜の水辺は、小さな明かりを点滅させて舞うホタルの
舞踏会の会場になります。

「森からのてがみ 1~3」(ちしきの本) スラトコフ / 作 福音館書店

キツツキは、森の大工さんです。あちこちの木にくちばしで
あなをあけます。そのあなに、ヤマネ、コウモリ、ミツバチ
などいろんな生き物がくらしています。

(スラトコフおじさんが森のどうぶつたちの生活をしょうかいします。)



海へ行こう



『お化けの海水浴』(えほん)

川端 誠 / 作 B.L出版

「こは、人間がまよいこんだら、

おそんこにまよあじ

お化けだけの浜辺です。

「こは、人間がまよいこんだら、

お化けたちがあつまって

宴がはまりました。

「だんごむし うみへいく」(えほん)

松岡 達英 / 作 小学館

だんごむしのなかまは、海にもすんでいます。
そこで、だんごむしとカタツムリは、ふねをつくって
なかまさがしのたびにでかけました。
ぶじに海までたどりつけるでしょうか。



「ホラーハウスは海からいっぶん」 山下 明生 / 作 大日本図書

わたしと、おにいちゃんは、ホラーおじちゃんの、ホラーハウスに
とまりに行くことになりました。

おじちゃんは、「この家には、のっぺらぼう、おばけこもり、
海ぼうずもいるぞ。」といいます。ほんとにおばけがでるのかな？



「あっぱれ！わかとの天福丸 海ぞく島の巻」

木暮 正夫 / 作 金の星社

天福丸は、タコの神八から海をあらしまわっている海ぞくの話を書きました。
新しい剣術 “ポンポコ流” でたいじしてやる。いざ海ぞく島へ出発だ！



「SOS！海底探検」 (マジック・ツリーハウス5)

オズボーン / 作 メディアファクトリー

ジャックとアニーが見つけたマジック・ツリーハウスは、
本のなかの世界へ連れていってくれる魔法の小屋でした。
このツリーハウスの持ち主モーガンと出会った二人は、
四つのなぞなぞをときながら、海底探検に出かけること
になりました。

「一つのなぞなぞ
わたしは、石のようにか
たくて、灰色で、とてもか
んたんな形をしています。
自分の中に、うつくしい宝
をもっています。わたしは
なんでもしょう。」



「ぼくは貝の夢をみる」(ちしきの本)

盛口 満 / 作 アリス館

ゲッチョ先生は、小学校2年生のときから、
貝がら集めをしています。

大人になった今でも、夢を見てしまうほど
貝が大すきな先生が、子どものころから
あつめた貝の名前がたくさんしょうかい
されています。

「浜辺のコレクション」(ちしきの本)

浜口 哲一・池田 等 / 作 フレーベル館

浜辺を歩くといろんなものを拾うことが
できます。貝がらや海そう、木の実や
おもちゃを見つけることもあります。

これらはいったいどこからやってきたの
でしょう。

シリーズしようかい

1・2年

オオカミのひみつ (全3巻)

田島 征三 / 作 偕成社
わがままで、くいしんぼうなオオカミくん。
だれにも知られたくないひみつとは？

オオカミのごちそう
オオカミのともだち

どんだんお話の世界が ひろがっていくよ

カボちゃんのプリン (全5巻)

高山 栄子 / 作 理論社
かぜでお休みしたカボちゃんに
ソラくんはきゅうしょくのプリンを
とどけようとしたんですが・・・

ゆうやけカボちゃん
カボちゃんのおおそうじ
カボちゃんのえんそく
カボちゃんのわすれもの



3・4年

マリア探偵社 (全5巻) 川北 亮司 / 作 理論社

どんな事件でも解決！
カオリンにおまかせ

消えたCMタレント 魔女のクロスワード
恐怖スクール 死界からのメッセージ
呪いのEメール



アカネヒメ物語 (全4巻)

オルゴールのひみつ
夢みる木馬

村山 早紀 / 作 岩崎書店
たそがれの約束
春色のミュージカル



インターネットをはじめたはるひに
名前も住所もおまけに年も同じだと
いうふしぎなメールが届いた・・・。

5・6年

寿司屋の小太郎 (全2巻) 佐川 芳枝 / 作 ポプラ社

ビックリ！出前大事件 山本小太郎12才。いろんな事件にまきこまれるが持ち前の
明るさと元気で解決。おいしいお料理のレシピもついているよ。

クワイナー 一家の物語 (全4巻) マリア・D・ウィルクス / 作 福音館書店

ブルックフィールドの小さな家 十字路の小さな町
森の小さな開拓地 コンコード・ヒルの上で



* 「大草原の小さな家」のローラの母さん、
キャロラインの少女時代の物語です。